

部会名	保健体育科
(1)平成30年度 専門部会研修事業報告	
研修目標 「未来にはばたく私学教育」	
部会目標 「たくましい体力と豊かな情操を育てる」	

11月26日(月)保健体育科新任者研修会
会場校 常葉大学附属橘中学校・高等学校

【授業者】

○渡邊 亮 (高校1年 保健)

○大山 英剛(高校2年 ラグビー)

○助言講師 木宮 敬信先生(常葉大学教育学部生涯学習科 准教授)

【授業担当者より】

渡邊 亮 (高校1年 保健)

- ・ 時間配分が上手く出来ず、この授業で一番の重点に置いていた部分が手薄になってしまった。
- ・ 生徒の発言が多かったので取り組みは良かったと思う。

大山 英剛(高校2年 ラグビー)

- ・ ラグビーという楕円球を扱うスポーツのため、導入の部分で難しいものがあった。
- ・ 授業では、専門的知識を多く取り入れて展開した。
- ・ 生徒からは、ボールの扱いが難しいという意見が多かったので工夫が必要と感じた。

【助言講師 木宮 敬信先生より】

《保健について》

- ・ パワーポイントの使用やプリントなど授業準備はしっかりと出来ていた。
- ・ 導入の部分で、生徒の関心を高める事がしっかり出来ていたので良かったと思う。
- ・ この単元が、何故1年生のこの時期に行われているのか？を考えたい。私学であれば高校入試を失敗して挫折を感じながら入学した生徒も居たり、希望や目標を持たない生徒など色々な悩みを抱えている時期なので、自己実現の知識を理解させる事だけでなく、いかにその知識を用いて行動に移させるか？単元の目標としたい。
- ・ PDCAの部分は、「うまくいかない」の場合だけでなく「うまくいった」場合も例題として挙げて考えさせたい。それは小さな目標をクリアしたことにより達成感を繰り返すことで次の目標につなげる大切な部分である。

《実技について》

- ・ 準備体操で行っていた「ラジオ体操」のリズムが速すぎであった。リズムが速いとしっかりとした準備体操の役割を果せないのが注意が必要である。
- ・ ラグビーは専門家ではないと難しい授業なので参考となる授業であったと思う。
- ・ 8時間の単元で、最終的な目標まで到達させるのは大変に難しいものである。
- ・ 授業の中で練習(基本的な動き)からミニゲームに移行する際に、急激に強度が上がるので心肺機能を上げさせる運動を取り入れて行くことが大切である。

【参加者のアンケートより】

- ・ 普段見ることの出来ない他校の先生方の授業を見学する事が出来て非常に勉強になりました。生徒の状況把握、取り組む姿勢など自分自身の所属する学校とは違った部分で先生方がどう対応してるかと言ったような部分で気づく点が多かったです。
- ・ 保健も実技も授業に対する準備がしっかりしていて充実した授業だと感じました。また、モニターや人工芝グラウンドなど環境も整っているので学習に集中出来ると感じました。
- ・ 他校の授業見学をさせて頂き、自分自身の引き出しを増やせる良い機会となりました。
- ・ 同世代の先生方がどのような授業や展開をされているのか？大変興味深く参加させて頂きました。今後の参考させて頂きたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 保健においても、実技においてもそれぞれに工夫があり、興味深い内容でした。生徒の様子もやはり楽しそうに見えましたし、教材研究を含め準備の大切さを強く感じました。
- ・ それぞれの先生が何を生徒に伝えたいのか？それを伝えるために工夫されているのを見て、改めて知識だけでも思いだけでなく、そのどちらも合わせ持ち、教壇に立つことの大切さを感じました。ありがとうございました。
- ・ 施設も充実しており、保健の授業においては、画面と通じてアニメキャラクターを用いて生徒に理解させていたのが感心しました。実技では、ラグビーを実際に見たことがなく、どのような授業になるかとても楽しみにしていました。私も勉強してラグビーを取り入れたいと思いました。
- ・ タグラグビーの授業が見られたので大変良かったです。指導案も丁寧に作ってあったので大変分りやすく勉強になりました。
- ・ タグラグビーを実施している学校は少ないと思うが、安全面にも配慮された上に楽しさを上手く伝えていてすごく感心を持ちました。
- ・ 本校は、ゲーム形式の授業が多い中で今一度授業の構成を学ばせて頂きました。

